



No. 143 2021. 7

(株) よかネット

NETWORK

もう一つの避難所、福祉避難所について	2
産物・食品の輸出支援の取り組み	4
近況	
観光消費動向を見てみた	6
流木アートに望む	8
～サグラダファミリア・ドラゴン～	
エライ時代になったものだ！	9
～田舎の畑にてオンライン会議～	
公園探しも一苦労	9
新人紹介	10
表紙解説	11

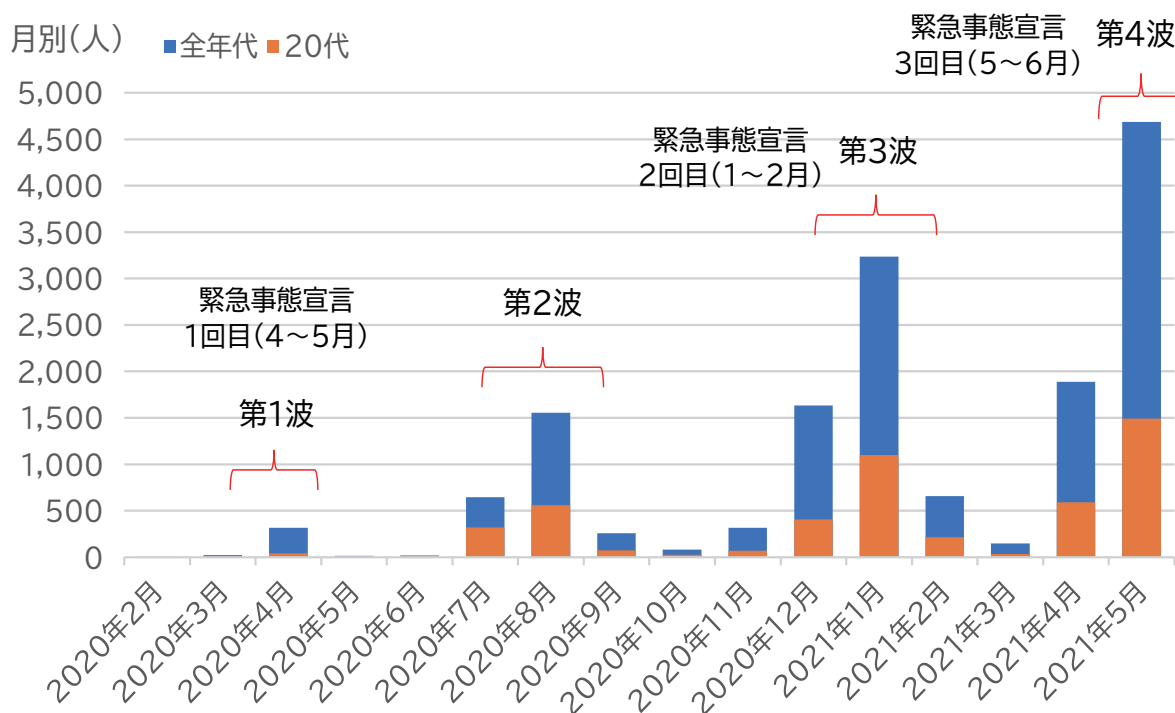
●新型コロナウイルス感染症との戦いは続く

新型コロナウイルス感染症が世界的に広がって1年数カ月。国内でも緊急事態宣言が3回発令され、未だに収束の兆しを見せてはいません。これまで、どのような増え方をしてきたのか、福岡市の陽性者数の推移を月別に整理してみました。

これを見ると、周知の通り4度の波があり、いずれも人が大きく移動する連休、年末年始、年度末のタイミングで増加しています。抑え込んで増え、増えては抑え込んでを繰り返しながら次第に拡大しています。ワクチン接種が進むまでは、当面は、この状況が続くことを覚悟しながらも、増えてからではなく、増える前に移動を抑制する必要があります。

(※他都市との比較、年齢別陽性者数は11ページに掲載)

■福岡市の月別陽性者数の推移



もう一つの避難所、福祉避難所について

山崎 裕行

●少し長い前置き「ばけものたいじ」で災害に備える

この原稿を書いているのは6月。梅雨時期です。今年も、これから10月くらいまで豪雨に警戒する時期がやってきました。毎年、必ずと言ってよいほど、豪雨による災害が起きています。「災害時には平常時にできること以上のことはできない」と言われており、日頃からの備えが重要となります。「備えるたって、なんしたらいいとー？」という声に応えるべく、まずは、このような内容から考えてみませんか。

ば：避難する場所

け：避難する際の経路

も：避難する際に持ち出す物（非常時持出品）

の：避難する際の乗り物

（徒歩、自転車、車、公共交通機関）

たい：避難するタイミング

じ：避難するための情報収集

「ば」：避難する場所は、公民館や体育館だけではなくりません。親戚・友人宅、旅館・ホテルなど色々と考えられます。豪雨の場合、マンションの中高層階に住んでいるなどの状況によっては、自宅に留まることも考えられます。特に、新型コロナウイルス感染症への感染が危惧される状況においては、特定の場所に多くの人が集まることは避ける必要があります。分散避難と言いますが、様々な避難先を考えておきましょう。

「け」：避難する場所のめぼしを付けたら、次にどこを通過してそこに行くか。平常時には気にならなくても、災害時には危ない道路もあります。例えば、街灯の少ない道路、側溝に蓋がない、ガードレールがない道路、段差のある道路などです。避難する際に安全な道を予め確認しておきましょう。

「も」：避難先に備蓄品があったとしても、その数は限られています。日頃から出来れば、家族で最低3日間は備蓄品で過ごせるように準備しましょう。そして、避難の際は、まずは、さっと持ち出せることが重要ですので非常時持出品として1日分を準備しておくと思いいます。

「の」：どのように避難するかも重要なポイントです。避難するタイミングにもよりますが、豪雨のようにある程度、「災害が起こりそうな曜日や時間帯」がわかる場合、そして事前に避難する場合は、様々な乗り物での避難は可能でしょう。一方で、地震の場合は、車での避難は交通渋滞、燃料の問題などが考えられるために避けましょう。

「たい」：タイミングについて、「早め早めの避難」、「空振りをおそれない」は、いつも言われていることですが、より良いのは「高齢者等避難（災害レベル3）」での避難、次の「避難指示（災害レベル4）」では確実に避難することが重要です。もっとも、避難情報（災害レベル）に捉われることなく、身の危険（危ないかもしれない）を感じた場合は、避難することが肝要です。ちなみに令和3年5月20日より避難情報が新しくなりました。

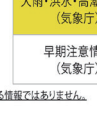
「じ」：最後に、情報は気象庁や自治体など情報源が確かなところから収集することとし、噂やネット上で飛び交っている情報に惑わされないようにしましょう。情報に基づく様々な判断は個人に委ねられます。テレビやラジオ、新聞、ネットなど情報提

■新たな避難情報（内閣府 HP より一部加工）

Evacuation
Information
(Revised)

警戒レベル
4

令和3年5月20日から
ひなんしじ
避難指示で必ず避難
ひなんかんこく
避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	 火災発生 又は大規模な 火災発生	 災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
4	 災害のおそれ高い	 避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害のおそれあり	 避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 災害発生を おそれる	 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後災害が 発生する恐れ	 早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を把握し、把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

供サービスは色々ありますが、必ず複数のサービスから情報を得て判断することが大切です。

災害は、いつ、どこで、どのような規模で起こるか分からない、正に「ばけもの」です。事前の備えで「たいじ」しませんか。

●さて本題、福祉避難所をご存じですか

前置きが長くなりましたが、今回は福祉避難所についてです。

皆さん、福祉避難所をご存じですか。災害時に公民館や体育館といった一般の避難所では避難生活を送ることが困難な方のために用意される避難所のことです。認知症の方や障がい者の方、妊娠さん、乳幼児、外国人の方などがその対象（いわゆる要配慮者）とされています。

日本では、平成7年の阪神大震災でその必要性が目され、平成15年の能登半島地震の際に石川県輪島市で最初の福祉避難所が開設されています。そして、平成25年の災害対策基本法改正により同法の施行令第20条の6第1項第5号に福祉避難所の指定基準が設けられました。この間、国は「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」や「福祉避難所の設置・運営に関するガイドライン」、「避難所における良好な生活環境の確保に向けた指針」、「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」などを作成し、福祉避難所の設置促進を図ってきました。このような取組の結果、福祉避難所は増えてきていると思われますが、一般にはあまり知られてはいません。昨年度、委託調査の一環で障がい者団体の方や、社会福祉協議会の方とお話する機会があったのですが、「はじめて聞いた」、「よほど防災・減災に関心がある人でないと知らないのではないか」とのことでした。

●なぜ知られていないのか

このようにあまり知られていない理由としては、事前に公表している自治体が少ないことが挙げられます。では、なぜ公表していないのか。色々調べてみたところ、おおよそ次のように整理できそうです。

多くの場合、老人ホームなどの高齢者施設、あるいは障がい者施設が福祉避難所として位置づけられています。自治体はこのような社会福祉施設と福祉避難所に関する協定を結びます。ただし、

「協定締結＝災害時に福祉避難所を開設」ということではありません。社会福祉施設には、当然のことながら、日頃、利用者（入所者）さんがいます。福祉避難所が必要となった場合には、まずは利用者に必要なスペース、人材などの確保が重要となります。その上で受入の余裕がある場合に、福祉避難所として開設することになります。そのため、発災時には、まずは自治体と社会福祉施設間とで開設に向けた調整が行われます。施設の被害状況、スタッフの確保状況などによっては開設したくても開設できない状況があるからです。ここがポイントです。

政令指定都市を中心にHP上で事前公表しない理由をみると、概ね次のように言われています。「災害時に全ての福祉避難所が開設できるとは限らない状況において事前公表すると、そこに本来福祉避難所が対象としている方以外の方も含めて避難者が殺到してしまう恐れがある。」と。一方で、当事者の家族の方（以下、当事者等）からは、「一般の避難所に避難しにくい中、近くに福祉避難所があるかどうか知りたい」というニーズがあります。

●知ってもらうためにどうするか

「避難者が殺到する恐れがある」という点については、事前に福祉避難所の位置づけや役割を周知し、当事者だけでなく、広く住民に理解を促すことが求められます。熊本地震の際の話を聞くと、福祉避難所について多くの方が知らないため、対象者以外の方が福祉避難所となっている施設に避難してきたそうです。しかし、そこで一旦受け入れて、役割について丁寧に説明し、一般の避難所へ移動してもらうようお願いしたところ、多くの方が移動されたそうです。本当に殺到するかどうかは、事前にどれだけ周知し、理解を促せているかによりそうです。

「全ての福祉避難所が開設できるとは限らない」という点については、各自治体が設置している「福祉センター」などの拠点施設だけでも公表できないか、また、開設できるように準備しておくことが重要ではないか。これも、昨年度の委託調査の一環で行った学識の方との意見交換の中で指摘をいただきました。

また、実際に開設するかどうかは状況によると

して、協定を締結した施設で、事前に了解を得たところを、「福祉避難所候補施設」として公表することも考えられます。いくつかの政令指定都市ではこの方法を採用しているところがあります。「福祉避難所としてどの施設が開設されるのか、災害時においてもわからない状況」というのは、当事者等にとって不安でしかありません。

●福祉避難室（スペース）をご存知ですか

多くの自治体で福祉避難所への避難は、当該施設への直接避難の方法をとっていません。まずは、公民館や体育館などの一般の避難所に避難していただき、避難先で福祉避難所への避難を必要とする方を把握する一方で、協定締結施設と調整を行い、調整でき次第、福祉避難所の開設となり、そちらに移動してもらう、いわば2段階避難の形がとられています。福祉避難所が二次避難所と言われるのも、このためです。

それ故に、国の福祉避難所に関するガイドラインでも、まずは一次避難所である公民館や体育館などには要配慮者を受け入れるための福祉避難室（スペース）を設けるようにと謳っています。しかし、福祉避難所以上に福祉避難室（スペース）については知られていないのが実情ではないでしょうか。

度重なる災害を経験する中で、避難所の質の向上が謳われ、女性や高齢者への配慮、女性目線の避難所運営などは意識が高まり、実際に進んできたように思います。しかし、障がい者の方についてはどうでしょうか。知り合いの公民館の方や熊本地震の際の事例を聞く限りでは、まだ十分とは言えない状況がありそうです。そこには、バリアフリーに対応していなかったり、多目的トイレがなかったり、避難所として使える部屋が限られて

いるなどの施設自体の問題もありますが、それ以上に大きな問題としては、障がい者の方や外国人の方を受け入れるための知識、人材が圧倒的に不足していることです。

●誰もが安全安心して避難できる場に向けて

本来、避難所のあるべき姿は、福祉避難所を一般の避難所と切り分けずに、「誰もが安心して居られる場、誰も排除しない場」とであると考えます。このことは、内閣府が現在検討を進めている「令和元年台風19号等を踏まえた高齢者等の避難に関するサブワーキンググループ」でも指摘されています。しかし、現状では既述の通り困難と言わざるを得ません。

多くの自治体が2段階避難の形をとっている以上、最初の受け皿である一般の避難所で、できることを形にすることが望まれます。まずは、当事者等から意見を聞きながら、あるいは過去の事例に学びながら福祉避難室（スペース）をどこに設けるか、その検討から始める必要があります。次に、受け入れのために必要な知識を学んだり、あったら良い備品を準備したりする。そして、避難訓練などにより、実際の動きを確認することも考えられます。

例えば、いつもお世話になっている福岡市博多区美野島公民館では、地域住民向けに、公民館の設備・バリアフリーの状況を、避難所を開設した場合のレイアウトなどを紹介する写真、図面付きの資料を作成されています。

このように、できることから少しずつ形にしていくことが、各地で広がっていけばと思いますし、そのお手伝いをしたいとお思います。

（やまさき ひろゆき）

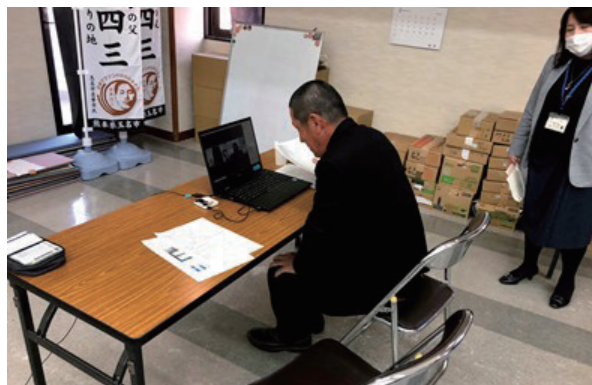
産物・食品の輸出支援の取り組み

原 啓介

●2018年から香港市場開拓、昨年度はZOOM商談会を実施

当社では、2017年から玉名市や、熊本県北地域（玉名市、菊池市、山鹿市、和水町）のインバウンドセールスを支援してきたが、2018年度以

降は農産物の輸出拡大もお手伝いしている。なお玉名市・熊本県北地域は、インバウンド・輸出のメインターゲットを香港・台湾としており、弊社はこれら地域へのセールスと効果測定等などのお手伝いをしている。



ZOOM を使ったオンライン商談会

香港向けには、2018 年以降、現地高級飲食店への物産輸出・ブランド浸透に取り組んだ。昨年度は現地へのセールスとして、香港・尖沙咀（チムサーチョイ）の熊本県アンテナショップ「櫓杏（ろあん）」に香港のシェフ・バイヤー 7 社を招き、熊本県北 5 事業者と ZOOM で結んだオンライン商談会を開催した。熊本側の商品は事前に香港に空輸し、櫓杏のシェフに調理していただいた。

当日は回線が途中で止まるトラブルに加え、結果的に販路が拡大したのは参加された 5 社中 3 社ということで、100 点満点とは言えなかったが、海外販路を広げるお手伝いはできたと思う。

●2020 年度から、熊本県産イチゴの輸出を支援

2020 年度は、玉名市内のイチゴの生産者である㈱イチゴラスさんから委託を受け、農林水産省の「GFP グローバル産地づくり推進事業」を活用し、熊本県産のイチゴをアメリカやドバイ、東南アジアに輸出するお手伝いをさせていただいた。と言っても私共が各地に直接販路を持つわけではない。当社の役割は現地市場に強い輸出事業者と、国内生産者を繋ぐところと、現地でテストマーケティング調査を実施する際の設問設計・集計、今後の展開の取りまとめである。

本事業においては、現在、自社農園で 2 トンのイチゴを生産しており、GFP 令和元年度の輸出量 2.87 トンを、令和 5 年度に 10.5 トンまで拡大することを目標としている。

●ニューヨークにてイチゴの試食アンケートを実施

アメリカ市場の開拓にあたっては、西海岸・東海岸という比較的高所得な地域から販促を開始した。西海岸については、日系の物流企業や日系の小売店「ドン・キホーテ」などへの販路がすぐに



店頭で、77 名に試食アンケートを実施

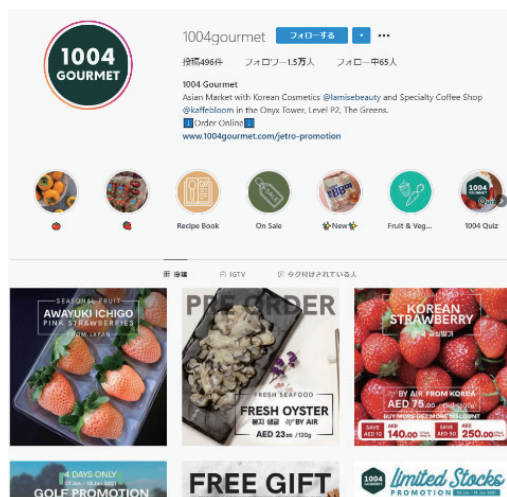
構築できた。東海岸・ニューヨークの市場開拓においては、日本産イチゴの販路が確立されていなかったため、弊社のネットワーク会社であるアルパックから現地の日系コンサルタントを紹介いただき、値決めや販路開拓に向けた基礎調査を実施した。

2021 年 1 月、ニューヨークの健康食品スーパー店頭で試食アンケートを行ったところ、事前に設定した 1 パックの小売価格は少し高めに設定しすぎたようであった。しかし、「パッケージが過剰包装である（環境負荷が高い）」「糖度を数値化してほしい」といった指摘があり、簡素な包装としてコストダウンを図りつつ、「正確な、客観的な事実」を大事にする欧米人向けにイチゴの機能をさらに説明していく必要がある等、今後の改善点を把握することができた。

イチゴラスさんとして、アメリカ向けのイチゴの輸出は今年初めての取り組みであった。新型コロナウイルス感染症の影響で物流のリードタイムが不安定になり、期日までに荷物が届かないトラブルが多発するなど苦労もあったが、西海岸は好調な滑り出しで、西海岸在住のアジア系移民の贈答需要をうまく取り込めている。今後は東海岸向けの施策を強化していくお手伝いをする予定である。

●ドバイのアジア系小売店とタッグを組んでイチゴを販促

ドバイ市場の開拓においては、現地最大のアジア食品小売店とタッグを組み、現地での販売並びにインスタグラムのインフルエンサーによる情報拡散を実施した。取引開始当初は、熊本とドバイの温度差が約 30 度あり、長時間の輸送と気温差に



現地小売店インスタグラム（フォロワー1.7万人）
における情報拡散

耐えうる梱包に試行錯誤されていたが、梱包手法の確立後、コンスタントに発注をいただいている。

現地パートナーからは、ドバイ在住のイチゴ好きを対象とした「産地（玉名市）見学バーチャルツアー」の開催をお誘いいただいております、今年の冬に実施予定である。

●ビデオ会議と物流の組み合わせにより可能性が広がる

昨年度は、コロナ禍で日本に旅をして旅先で食を味わうことができなくなった反動を受け、海外現地の和食店や日系小売店で日本産品が良く売

れ、食品輸出事業は好調であった。

政情不安、災害、感染症等により観光産業がストップしても、観光関連産業が収益を得るための事業構築、物販・輸出強化が急務であることに加え、コミュニケーションツールの利便性が急速に進化しており、グローバルな物流網の整備と相まって、観光誘客と物産販促施策の相乗効果が年々増している。

玉名市は自治体の機構として、インバウンドと輸出を「観光物産課」が一体的に手掛けている点が強みである。また、熊本県北地域は、「熊本県北観光協議会」の予算の一部で輸出を支援しており、このようにインバウンド誘客と輸出促進事業がターゲット像と、その嗜好性等についての情報共有を図りながら、一体的に進めることが有効と思う。

当社としても、輸出支援業務はスタートして日が浅いサービスであるが、今後益々ニーズが高まる事業の一つであろうと感じている。観光事業のお手伝いをする中で、地域の物産を、海外市場に売っていききたいというニーズがあった際に、その道のプロを適宜ご紹介する機能を強化していきたいと思っている。（原 啓介）

近況

観光消費動向を見てみた

G7で参加国からオリンピック・パラリンピックの東京開催の支持を得たというニュースが流れていたが、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、観客制限だけでなく、無観客で行われる可能性も無くはないと思っている。いずれにしても、新型コロナウイルス感染症が沈静化すれば、国内外の観光需要は、すぐに元通りとまではいかないでも、徐々に回復することは間違いない。

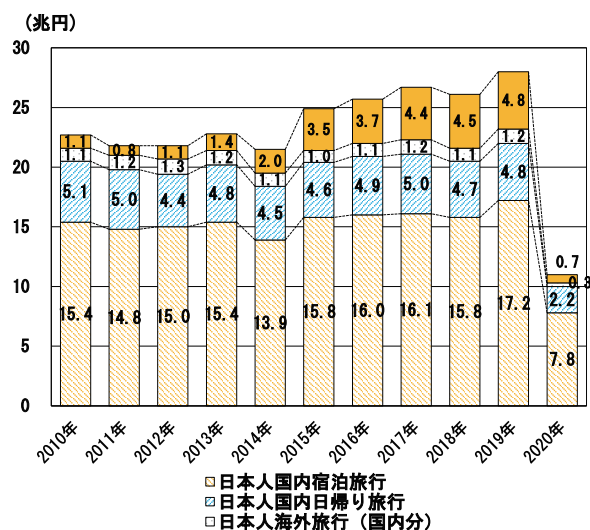
●これまでは堅調に消費額は増加

2003年の観光立国宣言当時、海外旅行に出かける日本人13百万人に対して、訪日外国人旅行者5百万人だったものが、2019年3,188万人を記録したものの、コロナによって大きく落ち込んだ。

観光庁「旅行・観光消費動向調査」の年報集計による旅行消費額の推移を見ても、この10年間は順調な伸びをしてきており、2010～2019年の間に、国内宿泊旅行が1.8兆円、訪日外国人旅行は3.7兆円の増加となっている。日帰り旅行は、0.3兆円のやや減少という状況である。

訪日外国人の消費額は増加はしていたものの、近年は一時期ほどの伸びは見られなかった。そして、コロナ禍によって旅行消費額全体は壊滅的な状況となった。コロナ禍になるまでは、国内宿泊旅行消費額は、訪日外国人消費額の増加を下回っているとはいえ、微増していた。もともと旅行消費額に占める国内宿泊旅行額は、6割以上を常に占めていた。

■旅行消費額の推移



※「訪日外国人旅行」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年は4-6月期、7-9月期、10-12月期の調査が中止となったため、2020年1-3月期の全国調査の結果を用いた試算値。

この国内旅行の消費額を今後も増やすことができれば、コロナ後の訪日外国人消費が回復するまで、旅行消費回復のつなぎになることも期待できると思った。

●国内旅行の今後はどうなる

日本人の国内旅行の宿泊、日帰りともにその目的は、「観光・レクリエーション」「帰省・知人訪問等」「出張・業務」の3つに区別され、宿泊旅行のうち「観光・レクリエーション」を目的の旅行消費額は6割(2019年)を占めている。

そこで、観光が主な目的と思われる「観光・レクリエーション」の旅行行動についてその動向を見てみた。

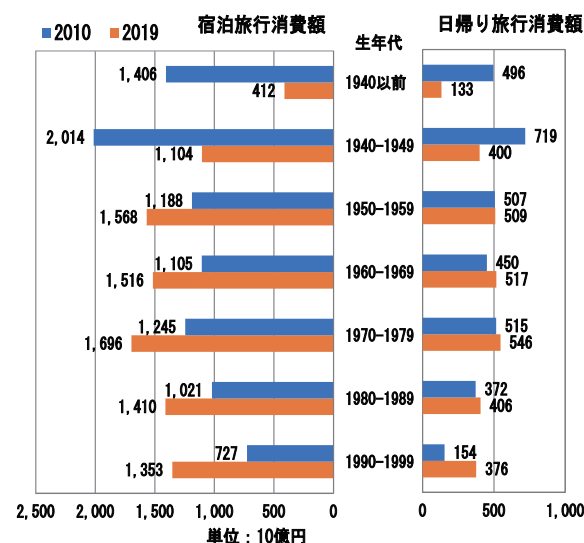
●2010年当時の60歳代は旺盛な旅行消費

次図の年代別のグラフ、青帯が2010年、橙帯が2019年、左は宿泊旅行、右は日帰り旅行の生年代別の消費額である。生年代とは、生まれた年の年代を示しており、2010年調査の場合では、1940-1949年生は、当時の60歳代に該当し、2019年には70歳代以上の世代となる。

2010年60歳代である1940-1949年生の宿泊旅行消費額は約2兆円、日帰り0.7兆円である。これが2019年70歳代になると宿泊1.1兆円、日帰り0.4兆円と大きく減少していることが分かる。

また、2010年時の1940年以前生まれの70歳代以上では、宿泊は2010年1.4兆円から2019年

■国内旅行の2010・2019年の消費額



0.4兆円、日帰りも大きく減少する。80歳代以上の年代になると旅行消費額は一気に減少する。

60歳代より下の各代の宿泊旅行消費はいずれも増えており、日帰り消費額もやや増加している。

●人口は減少するが、高齢化率は高くなる

令和3年高齢社会白書によると、日本の2020年(令和2年)の65歳以上人口は36百万人、2045年の39百万人まで増加と推計されている。60歳代から70歳代になる時に消費額が著しく減り、80歳代にはさらに減ることになれば、65歳以下の世代人口が増えない中、旅行消費額は減少していくことが予想される。この減少を訪日外国人による旅行消費の拡大だけでカバーするのは難しいと思われる。どうすれば良いのか。

●高齢世代の需要を喚起

高齢者になっても自由に旅行ができる、そういう環境を用意できれば、高齢化による旅行消費額の減少をカバーすることができるのではないかな。

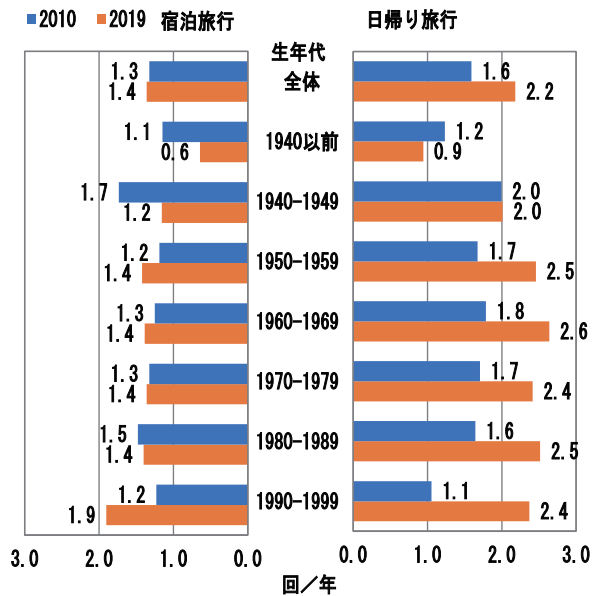
高齢世代の旅行需要は実際にはどうなのか。

次図は、宿泊旅行と日帰り旅行の旅行延べ人数を各年代人口で除したもので、1年間に旅行に参加した年代別の平均回数を見たものである。

宿泊旅行の参加回数は60歳代から70歳代になる時(1940-1949年生)に1.7回から1.2回減に少しているが、日帰りの参加率2.0回と変わっていない。宿泊旅行は出来なくても日帰り旅行は続けている。

1940年以前の生年代(2010年70歳代→2019年80歳代以上)を見ると、宿泊旅行の参加回数は

国内旅行の2010・2019年の消費額



資料：以上すべて観光庁「旅行・観光消費動向調査」より作成

1.1回から0.6回と半減に近いが、日帰りは1.2回から0.9回であり、減少率は低いようである。

準備に手間がかからず、安心して手軽に行ける宿泊旅行が可能になれば、高齢世代が宿泊旅行へ参加する需要はあると思われる。

訪日外国人の拡大だけでなく、お年寄りにも優しい受入環境、旅行商品が増えれば国内の宿泊旅行需要はもっと拡大できると思う。そういう環境づくりをもっと考えるべきではないだろうか。

(山辺眞一)

流木アートに望む

～サグラダファミリア・ドラゴン～

私の友人の中山寛さんは、ランドスケープデザインの専門家であり、当社とは嘉麻市（旧稲築町）の都市公園再生整備において企画された住民参加型の公園づくりの際に、技術支援及び作業の手伝いをしてもらいました。公園づくりでは、2月の寒い雪の中で二人で花壇の縁を区画するテストピースのコンクリートを設置したことは、今でも良い思い出となっています。

中山さんとは、その後も外構計画の相談や当社のセミナーなどにも度々参加していただき、公私ともどもお世話になっています。

5～6年前から中山さんは、絵になりそうな景色の良い処や動物園など面白い対象物のある処へ



製作中のサグラダファミリア・ドラゴン
(全長70cm程度)

出かけ、参加者と語らいながら絵を描くという「語り絵倶楽部」を主宰しています。

私は、語り絵倶楽部の創設から参加させてもらってます。しかしながら、一向に絵は上達しませんが、大いにリフレッシュさせてもらっています。

今年の2月末の語り絵倶楽部は、福岡市近郊にある新宮海岸の浜辺に流れ着いてきている流木などを材料として、何か形あるものを創るというテーマでした。語り絵倶楽部としては、初めての立体創作の試みです。

私は全く作りたい形のイメージを抱くことなく、ただ砂浜を1時間近く歩き回り、流木を探し廻りました。そのうちに面白い、変な形の流木を集め、これを組み合わせると”龍”になるのではと、ひらめきました。

胴体には防風林となっている松林の松ボックリの房を張り付ければ、龍の鱗になるのではと思います。松ボックリを10数個集めて自宅で暇な時間を見つけては、胴体部分に松ボックリの房を切り取り、一枚々木工ボンドで貼り付けています。

当日、集めた松ボックリだけでは胴体の5分の1にもなりません。

暇なときに松ボックリを取りに行く必要があります。これから仕事も忙しくなるなか、いつ完成するのかわかりませんが、気長に創作していこうと思っています。

サグラダファミリアは、これまでガウディの頭の中にしか設計図がないこと、資金不足などでの理由で、いつ完成する分らないといわれていました。そのイメージから思い付いたネーミングが、サグラダファミリア・ドラゴンです。

(現在、サグラダファミリアはIT技術の発達と観光客増加によって建設費が賄われる目途がたった

ことから 2026 年に完成予定とのこと)

我がドラゴンは、いつ完成するかは分かりませんが、完成した暁には、再度、掲載させていただきます。(山田 龍雄)

総エライ時代になったものだ!

～田舎の畑にてオンライン会議～

去る 6 月 6 日の日曜日、私が代表を務めている八女市上陽町芋焼酎づくりプロジェクトで、今年度のマルチ張り作業がありました。

このプロジェクトは、10 年前から始めたもので、都市住民と地元の方々で休耕地を活用して芋（コガネセンガン）を植え、地元の酒造所（後藤酒造場）で焼酎にしてもらい、販売額の一部を基金として積み立て、主に八女地域でコミュニティ活動等で頑張っている団体に寄付し、地域を応援することを目的としています。

今年は、梅雨の到来が例年に比べて 2 週間程度早く、また、断片的に雨も降り、畑がぬかるんで耕運機が空回りし、畝作りができず、畑作業が遅れてしまいました。なんとか畑の半分だけ畝が出来上がり、マルチ張り作業をする日が 6 月 6 日と決まりました。

なんと、この畑の作業日・時間帯が、私が住んでいる校区のまちづくり協議会の事務局会議と完全に重なっていました。校区まちづくり協議会の事務局会議も私が報告しないといけない事項があり、また、芋焼酎プロジェクトの畑作業も作業人数が集まらないという事情もあって、どちらを優先すべか、思い悩んでいました。

しかし、コロナ禍で普及したオンライン会議は田舎でもできるのではないかと思い、所員に相談したところ、通信環境があれば可能とアドバイスを受けました。

私も経験のため、早速、ネットで Wi-Fi ルーターを注文し、実践することにしました。

当日は、8 時半に畑に到着し、畑作業をし、9 時半にはインターネットにつながることを確認し、一旦、インターネットを切断しました。10 時に始まる事務局会議の 10 分前に再度、インターネットにつなごうとした途端、セキュリティキー番号の入力が必要となり、その番号を確認するのに少し手間取りましたが、5 分遅れで ZOOM によ



八女市上陽町
久木原集落の芋畑
半分だけ畝ができ、当日はマルチ張りしながら、オンライン会議

るオンライン会議に参加でき、田舎の畑から、無事、事務局メンバーに報告することができました。

一昨年までの私であれば、会議とその合間に畑作業をするという二重の行動は不可能であるし、最初からどちらかを諦めていたと思います。

オンライン会議が普及した結果、通信機器に弱い私でも、この二重の行動ができたことに我ながら感銘を受けましたが、同時に通信環境が整っていることから、会議からは逃れられず、却って気ぜわしいことになるものだと感じた次第です。

とにかくもタイトルにあるように「エライ時代になったものだ!」と実感したことを報告させていただきました。(山田 龍雄)

総公園探しも一苦労

ここ数カ月、毎週の休みは子どもと公園で遊ぶことにしている。もちろん、日頃の運動不足解消も兼ねてのことだ。子どもは、滑り台やブランコが好きなので、比較的大きな公園に行くのだが、毎回同じ公園では飽きてくる。そこで、幾つか目星をつけて順番に遊びに行くことになるが、昨今の状況下では上手くいかない。

福岡市内はもとより、福岡県下の大きな公園は軒並み休園中である。動物園や植物園も開いていない。そうすると、近所の比較的遊具の揃っている公園となるが、そこには多くの人（子ども）が集まってくる。みんな考えることは一緒だ。それでも、諦めずにネット上の情報と、グーグルマップで探し出す。条件は 3 つ。遊具があること、コインパークを含めて駐車場が近くにあること（長女は 1 歳なのでベビーカーなども持っていく必要がある）、日影があること（長時間の屋外活動は無理）。おかげさまで、自宅周辺の公園事情には

詳しくなり、市外も含めて条件に合う公園を複数見つけることができています。

子どもが楽しく遊ぶ姿を見たいが故に探しているものの、早くこんなことをせず、伸び伸びと遊べる日が来てほしいと思うのは、子どもに限ったことではないだろう。（山崎 裕行）



我が家近くの通称「ぶんぶんの公園」この公園が凄く気に入っています。

新人紹介



初めまして、4月からよかネットに入社致しました、益戸（ますど）と申します。今年の春まで、ネットワーク会社の（株）地域計画建築研究所（アルパック）のサステナビリティマネジメントグループで主に環境分野に関する業務に関わっておりました。

私がアルパックに在籍中は、環境分野の業務に従事していましたが、私が環境分野に関心を持ったのは、幼いころに読んだ『不都合の真実』（著：元アメリカ副大統領アル・ゴア氏）がきっかけです。その際に、気候変動や温暖化等のショッキングな現状を知り、地球環境を守りたいという思いが芽生え、大学時代は化学工学を専攻し、卒論研究で燃料電池の性能評価を行いました。しかし、大学時代に北欧を旅行した際に心境の変化がありました。そこでは、中心市街地に自転車専用道が整備され、多くの人が自転車で出勤している様子がありました。日本と比較すると自転車移動が市民の生活に溶け込んでおり、普段の日常生活から環境

に配慮することの積み重ねで環境保全に貢献する方法もあるのではないかと思います、ものづくりではなくまちづくりに路線を変更し、大学院では造園学に少し足を踏み入れました。

まちづくりを行う上で重要となるのは、そのまちに住む住民が安心して生活を送れるような住民に寄り添ったまちづくりをすることです。昨年の仕事を通じて実感したことは、住民に寄り添ったまちづくりを行うには、地域に入り込むことはもちろんのこと、その地域の歴史や文化を理解することが重要だということです。このことは環境分野に限らず、全てのまちづくりを行う中で重要だと実感しました。

それを受けて、環境に限らず色々な面でまちづくりに携わりたいと思いました。よかネットでは建築分野、観光分野など多岐にわたる分野に関わっています。今まで未経験の領域でありますので、業務を通じて色々なことを吸収し、日々研鑽していきたいと思っています。

私の趣味はスポーツ観戦です。地元が大分で近所にスタジアムのある環境であったため、昔から大分トリニータを応援しており、ほぼ毎試合見えています。今はコロナ禍ということもあり、自宅から観戦していますが、この状況が落ち着いたらスタジアムに足を運びたいと思っています。

最後になりますが、現時点で自分がどのような視点から専門的にまちづくりに携わりたいか明確化できていませんが、色々な業務に積極的に関わっていき見つけていきたいと思っています。至らぬところが多いと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。（益戸 亮平）

表 紙 解 説

第1波から第4波における陽性者の特徴を知ろうと思い福岡市、神戸市、仙台市の新型コロナウイルス感染症に関するオープンデータを基に整理してみました。

神戸市、仙台市を取り上げたのは、提供されているデータがほぼ共通しており加工しやすかったことと、昔から福岡市と比較する場合によく取り上げられているからです。

なお、第1波から第4波の期間については明確な定義を見つけられなかったため、便宜上、第1波を2020年3月～5月、第2波を2020年7月～9月、第3波を2020年12月～2021年2月、第4波を2021年4月～5月としています。

下表は、同期間の年齢別の陽性者数を住民基本

台帳人口（第1波は4月、第2波は8月、第3波は1月、第4波は4月）で割り、さらに1万人当たりの値としたものです（以下、人口1万人当たり陽性者数）。

これを見ると、まずは第1波、第2波、第3波、第4波と陽性者数は増えています。この背景にはPCRなどの検査体制が整ったこともあるだろうし、当初よりも移動の自粛などをしなくなったこともあると思われます。

次に、第2波以降、各都市ともに20代の人口1万人当たり陽性者数が他の年齢と比べても多いです。20代が最も多く30代、40代、50代と少なくなっています。なお、神戸市は80代、90歳以上が多いですが、これはインターネットで検索

■新型コロナウイルスの養成者数の推移

福岡市												
人口1万人 当たり陽性者数	第1波 2020年3月～5月			第2波 2020年7月～9月			第3波 2020年12月～2021年2月			第4波 2021年4月～5月		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総計	2.3	2.7	1.9	15.7	17.5	14.2	36.2	39.6	33.2	39.2	44.1	34.8
10歳未満	0.6	0.8	0.4	3.5	3.3	3.7	13.8	13.4	14.3	17.3	16.2	18.4
10代	0.2	0.3	0.1	9.1	9.5	8.8	28.3	30.3	26.2	31.7	31.7	31.7
20代	2.1	1.9	2.4	45.2	46.0	44.4	87.6	92.3	83.4	92.4	98.8	86.6
30代	3.1	3.5	2.7	20.8	24.6	17.3	44.3	52.2	37.1	51.5	59.9	43.7
40代	1.9	2.8	1.1	11.7	14.8	8.9	32.8	37.4	28.4	41.2	48.8	34.1
50代	3.2	4.2	2.3	12.2	15.1	9.4	33.0	34.5	31.5	35.2	41.1	29.7
60代	2.3	3.1	1.7	9.3	10.6	8.2	23.6	28.2	19.3	22.8	26.3	19.6
70代	2.3	3.0	1.8	7.3	8.9	6.0	17.3	20.1	15.0	14.8	16.8	13.1
80代	3.9	5.0	3.3	9.7	9.1	10.0	26.8	26.4	27.0	14.5	14.9	14.3
90歳以上	7.2	8.6	6.8	23.3	19.2	24.4	48.5	44.9	49.5	20.3	15.9	21.6
陽性者数計	353	199	154	2,457	1,292	1,165	5,525	2,853	2,672	6,571	3,498	3,073
神戸市												
人口1万人 当たり陽性者数	第1波 2020年3月～5月			第2波 2020年7月～9月			第3波 2020年12月～2021年2月			第4波 2021年4月～5月		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総計	1.8	2.1	1.4	4.4	5.4	3.4	25.8	26.4	25.3	49.5	50.8	48.2
10歳未満	0.3	0.5	0.0	2.8	4.1	1.4	12.4	11.8	13.1	24.6	22.0	27.4
10代	0.5	0.4	0.6	5.0	5.2	4.7	18.4	21.4	15.4	55.1	60.6	49.2
20代	3.1	1.7	4.4	11.3	12.4	10.4	39.9	40.9	38.9	81.9	84.6	79.3
30代	2.2	2.6	1.7	6.5	8.4	4.8	24.1	24.8	23.5	52.0	56.3	47.8
40代	2.2	2.8	1.7	3.8	5.8	1.9	24.3	25.7	23.1	46.8	48.2	45.6
50代	2.4	3.3	1.6	4.7	5.8	3.7	26.3	26.0	26.6	49.9	51.8	48.1
60代	1.4	2.0	0.8	1.8	1.7	1.8	22.4	26.1	19.0	39.5	42.0	37.1
70代	1.5	2.2	0.9	1.6	2.1	1.2	21.5	22.7	20.4	35.1	37.2	33.3
80代	1.1	1.9	0.6	2.0	2.4	1.8	35.1	37.0	34.0	51.8	50.8	52.4
90歳以上	1.5	3.0	1.0	5.5	4.4	5.9	72.1	62.7	75.3	106.0	79.6	114.9
陽性者数計	268	153	115	668	391	277	3,932	1,906	2,026	7,531	3,665	3,866
仙台市												
人口1万人 当たり陽性者数	第1波 2020年3月～5月			第2波 2020年7月～9月			第3波 2020年12月～2021年2月			第4波 2021年4月～5月		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総計	0.6	0.6	0.6	1.8	2.2	1.4	13.7	15.1	12.4	14.9	16.2	13.7
10歳未満	0.6	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	5.0	4.3	5.8	8.2	8.3	8.1
10代	0.6	0.2	1.1	1.2	1.3	1.1	11.3	10.7	11.9	11.1	10.3	12.1
20代	1.6	1.7	1.5	5.9	7.0	4.8	30.8	29.9	31.8	27.3	29.4	25.2
30代	1.1	1.2	1.0	2.2	2.6	1.9	19.6	22.5	16.8	17.3	20.4	14.2
40代	0.4	0.6	0.2	1.7	2.6	0.7	13.4	16.0	10.7	12.4	14.6	10.2
50代	0.7	0.6	0.9	1.1	1.7	0.6	12.4	15.5	9.2	14.2	16.6	11.7
60代	0.2	0.2	0.2	1.0	0.7	1.2	9.8	10.6	9.1	12.0	13.6	10.6
70代	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.5	6.7	7.7	5.8	12.3	12.8	12.0
80代	0.0	0.0	0.0	1.5	1.3	1.6	7.9	8.3	7.6	13.6	12.4	14.4
90歳以上	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.7	11.1	9.5	11.6	36.5	32.1	38.0
陽性者数計	64	32	32	189	111	78	1,459	777	682	1,581	831	750

する限りでは社会福祉施設においてクラスターがいくつか発生したことによるものと思われます。

この数字だけをみると、働き盛りの世代であり子育て世代でもある20代～40代の陽性者数を如何に抑えるかがポイントのようです。

まずは、マスク、消毒、身体的距離をとるといった基本を徹底すること、可能ならばテレワーク、オンラインの会議・打合せ、外出抑制を取り入れること。これらは、ワクチン接種が進んだとしても、当面の間は欠かすことができない生活様式ではないかと思っています。（山崎 裕行）

活動紹介 ～chikugogawa.biz～

当社の監査役を努めていただいている駄田井正久留米大学名誉教授をはじめ、筑後川流域で観光事業を展開している企業・団体等が連携し、筑後川流域経済創生マガジン『CHIKUGOGAWA.Biz』を創刊された。

『CHIKUGOGAWA.Biz』の内容は、筑後川流域の地方創生に取り組むパイオニアのストーリー、駄田井先生がこれまで筑後川流域の地域づくりを現場で牽引してきたご経験から、地方創生にける課題や率直な思いを伝えるコラム、流域の絶景スポット、流域の企業紹介等である。

駄田井先生をはじめとした創刊メンバーのは、これまで90回以上、流域をめぐるツアーを仕掛けるとともに、流域の特産品をインターネット等で国内外に販促する活動を展開するなど、地に足をつけた活動を何十年も展開しておられる。私も数年前、竹が繁茂する里山に出かけて汗だくで竹を刈る活動に参加させていただいたが、全身汗だくになり、心身ともに困憊したことを覚えている。そうした地道な活動をずっと展開してきた方々である。

筑後川流域で何か事業やイベントを立ち上げ、外部から誘客したい方、流域の特産品を国内外に拡販していきたい方は、ぜひ一度インターネットで「chikugogawa.biz」を検索し、駄田井先生はじめ皆さまの挑戦を知ってほしいと思う。

（原 啓介）



編集後記

福岡での新生活が始まり、早くも2ヵ月が経過しました。福岡にきた当初、一番驚いたのは夜間にごみ回収がされることです。今まで住んでいた地域では朝にごみ出しを行っていたため、慣れるまで不思議な感じでした。

コロナの感染状況が落ち着き、以前のような日常生活に戻れば、福岡の色々な場所を散策し、新たな発見をしたいと思います。（益）

久々に編集作業に携わりました。編集はセンスが問われる作業だなと思っており、繰り返すことで少しはよくなったかなあ。（裕）

よかネット No. 143 2021.07

（編集・発行）

（株）よかネット

〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3番8号
福岡パールビル8階

TEL 092-283-2121 FAX 092-283-2128

<http://www.yokanet.com>

mail:info@yokanet.com

（ネットワーク会社）

（株）地域計画建築研究所

本社 京都事務所 TEL 075-221-5132

大阪事務所 TEL 06-6205-3600

東京事務所 TEL 03-5244-5132

名古屋事務所 TEL 052-462-1030